

収集した項目一覧

本書作成のため、各施設から「院内がん登録標準登録様式」のうち下記の収集項目を提供いただき、集計に用いました。

<2016年版標準登録様式 収集項目-1>

項目番号	項目名	分類方法	説明
900	病院等の名称		
110	重複番号		自施設における多重がんの有無を把握し、当該腫瘍に固有の腫瘍IDを作成するためのコード
140	性別	1:男、2:女	
150	生年月日		
220	診断時郵便番号	ハイフンなしの数字7桁（不明の場合は9999999）	当該腫瘍の診断時に居住していた住所の郵便番号
200	診断時都道府県コード	01:北海道～47:沖縄、80:その他（外国）、99:不詳	当該腫瘍の診断時に居住していた住所の都道府県コード
300	原発部位《局在コード》	ICD-O-3局在コード4桁「C169の」ように「.」を含まずに入力する	当該腫瘍の原発部位を表す項目で、当該腫瘍を分類していく上で分類の基本となるもの
309	原発部位《テキスト》	原発部位・局在コードをテキストで補足する	当該腫瘍の原発部位を表す項目で、原発部位《局在コード》では不足している情報を補完するために用いる
310	側性	1:右側、2:左側、3:両側、7:側性なし、9:不明	臓器における原発巣の側性（原発部位の側性）。側性のある臓器における多重がんの判定に用いる
320	病理診断《形態コード》	ICD-O-3形態（M）コード（6桁）8000/39→800039の形で入力	当該腫瘍の形態（組織型）を表す項目で、当該腫瘍を分類していく上で分類の基本となるもの
329	病理診断《テキスト》	病理診断・形態コードをテキストで補足する	当該腫瘍の形態（組織型）を表す項目で、病理診断《形態コード》では不足している情報を補完するために用いる
330	診断根拠	1:原発巣の組織診、2:転移巣の組織診、3:細胞診、4:部位特異的腫瘍マーカー（AFP,HCG,VMA,免疫グロブリンの高値）、5:臨床検査、6:臨床診断、9:不明 ※4にPSAは含まない	患者の全経過を通じて、「がん」の診断の根拠となった最も確かな根拠を表す項目
350	当該腫瘍初診日	当該腫瘍の診療のためにはじめて自施設を受診した日	当該腫瘍の診断や治療のために、はじめて患者が自施設を受診した日。自施設診断日と合わせて、当該腫瘍の起算日（基準日）を決定するために用いる
360	他施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日（他施設が主体になって、その診断過程が実施された場合）	当該腫瘍に関して自施設に初診する前に行われた検査が「がん」の診断において最も確からしい場合の、その検査が行われた日
370	自施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日（自施設が主体になって、その診断過程が実施された場合）	当該腫瘍に関して、自施設初診後に行われた検査が、「がん」の診断において最も確からしい場合の、その検査が行われた日。当該腫瘍初診日と合わせて、当該腫瘍の起算日（基準日）を決定するために用いる
380	診断日	診断施設が「自施設診断」の場合は「自施設診断日」、「他施設診断」の場合は「当該腫瘍初診日」	当該腫瘍の初回治療前に、診断のために行われた検査のうち、「がん」と診断する根拠となった検査が行われた日。がん登録における当該腫瘍の起算日（診断年や生存期間の計算に用いられる）
400	診断施設	1:自施設診断、2:他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、最も確かであると考えられる検査を行った施設を特定するための項目
410	治療施設	1:自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明、2:自施設で初回治療を開始、3:他施設で初回治療を開始後に自施設に受診して初回治療を継続、4:他施設で初回治療を終了後に自施設を受診、8:その他	当該腫瘍の初回治療を、どの施設で開始、実施したかを判断する項目。初回治療の過程における自施設の位置づけを把握するための項目であり、『自施設責任症例』を決定することから、きわめて重要な意味を持つ項目
420	症例区分	10:診断のみ、20:自施設診断・自施設初回治療開始、21:自施設診断・自施設初回治療継続、30:他施設診断・自施設初回治療開始、31:他施設診断・自施設初回治療継続、40:初回治療終了後、80:その他	当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、自施設でどのように関係したかを判断するための項目
450	来院経路	10:自主的受診、20:他施設からの紹介、30:自施設で他疾患経過観察中、80:その他、99:不明	当該腫瘍の診断・治療のため、がん患者がどのような経路によって自施設を受診したのかを把握する項目
460	発見経緯	1:がん検診・健康診断・人間ドック、3:他疾患の経過観察中の偶然発見、4:剖検発見(Aiを含む)、8:その他、9:不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目
470	病名告知の有無	1:病名の告知あり、2:病名の告知なし、9:不明	初回治療方針を決定された際に、病名の告知が行われていたかを判断するための項目

<2016年版標準登録様式 収集項目-2>

項目番号	項目名	分類方法	説明
500	ステージ (治療前・UICC)	4000:0期、4100:I期、4200:II期、4300:III期、4400:IV期、4999:不明、7777:該当せず※「該当せず」は対象部位以外または癌腫以外などの時に用いる	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の初回治療前の病期を記録するための項目
510	TNM分類 (UICC) T分類	1000:T0、1010:Tis、1050:Ta、1100:T1、1200:T2、1300:T3、1400:T4、1500:TX、1999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の初回治療前のT分類を記録するための項目
520	TNM分類 (UICC) N分類	2000:N0、2100:N1、2200:N2、2300:N3、2400:N4、2500:NX、2999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の初回治療前のN分類を記録するための項目
530	TNM分類 (UICC) M分類	3000:M0、3100:M1、3500:MX、3999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の初回治療前のM分類を記録するための項目
540	TNM分類 (UICC) 付加因子	5110:G1、5120:G2、5130:G3、5140:G4、5150:GX、5200:S0、5210:S1、5220:S2、5230:S3、5250:SX、5300:症状なしA、5310:症状ありB、5410:核分裂像5以下、5420:核分裂像5超、5511乳頭/濾胞・45歳未満、5512:乳頭/濾胞・45歳以上、5513乳頭/濾胞・55歳未満、5514:乳頭/濾胞・55歳以上、5520:髄様癌、5530:未分化癌、5999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の初回治療前の付加因子を記録するための項目
550	肝癌の病期 (治療前・取扱い規約)	4000:0期、4100:I期、4200:II期、4300:III期、4400:IV期、4999:不明、7777:該当せず	肝癌について、わが国におけるその重要性和、取扱い規約での病期分類とUICCTNM分類との解離の大きさとその治療への影響に鑑みて、当該腫瘍の初回治療前の病期を、原発性肝癌取扱い規約に準拠して記録するための項目
580	進展度 (治療前)	400:上皮内、410:限局、420:領域リンパ節転移、430:隣接臓器浸潤、440:遠隔転移、777:該当せず、499:不明	全国がん登録で用いられる、当該腫瘍の初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目。他の病期分類などの変更の影響を最小限にして、経時的な比較を行うために定められている
600	ステージ (術後病理学的・UICC)	4000:0期、4100:I期、4200:II期、4300:III期、4400:IV期、6610:手術なし、6620:術前治療後、4999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の手術検体の病理所見で補完された初回治療前の病期を記録するための項目
610	pTNM分類 (UICC) pT分類	1000:pT0、1010:pTis、1050:pTa、1100:pT1、1200:pT2、1300:pT3、1400:pT4、1500:pTX、6610:手術なし、6620:術前治療後、1999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の手術検体の病理所見で補完された初回治療前のT分類を記録するための項目
620	pTNM分類 (UICC) pN分類	2000:pN0、2100:pN1、2200:pN2、2300:pN3、2400:pN4、2500:pNX、6610:手術なし、6620:術前治療後、2999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の手術検体の病理所見で補完された初回治療前のN分類を記録するための項目
630	pTNM分類 (UICC) pM分類	3000:pM0、3100:pM1、3500:pMX、6610:手術なし、6620:術前治療後、3999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の手術検体の病理所見で補完された初回治療前のM分類を記録するための項目
640	TNM分類 (UICC) p付加因子	5110:pG1、5120:pG2、5130:pG3、5140:pG4、5150:pGX、5200:S0、5210:S1、5220:S2、5230:S3、5250:SX、5300:症状なしA、5310:症状ありB、5410:核分裂像5以下、5420:核分裂像5超、5511乳頭/濾胞・45歳未満、5512:乳頭/濾胞・45歳以上、5513乳頭/濾胞・55歳未満、5514:乳頭/濾胞・55歳以上、6610:手術なし、6620:術前治療後、5999:不明、7777:該当せず	国際比較のため、UICCTNM分類により、当該腫瘍の手術検体の病理所見で補完された初回治療前の付加因子を記録するための項目
680	進展度 (術後病理学的)	400:上皮内、410:限局、420:領域リンパ節転移、430:隣接臓器浸潤、440:遠隔転移、660:手術なし又は術前治療後、777:該当せず、499:不明	当該腫瘍の手術標本などにより補完された初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目。全国がん登録で用いられ、経時的な比較を行うために定められている
700	外科的治療の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、外科的治療の有無。自施設において、初回治療として行われる外科的治療の頻度等を把握するための項目
701	外科的治療の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)外科的治療が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の外科的治療の施行日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
705	外科的治療 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された外科的治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
706	外科的治療 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された外科的治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
710	鏡視下治療の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、鏡視下治療の有無。自施設において、初回治療として行われる鏡視下治療の頻度等を把握するための項目
711	鏡視下治療の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)鏡視下治療が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の鏡視下治療の施行日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
715	鏡視下治療 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された鏡視下治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
716	鏡視下治療 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された鏡視下治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目

<2016年版標準登録様式 収集項目-3>

項目番号	項目名	分類方法	説明
720	内視鏡的治療の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無。自施設において、初回治療として行われる内視鏡的治療の頻度等を把握するための項目
721	内視鏡的治療の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)内視鏡的治療が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の内視鏡的治療の施行日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
725	内視鏡的治療 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された内視鏡的治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
726	内視鏡的治療 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された内視鏡的治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
730	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	1:原発巣切除、4:姑息的な観血的治療、6:観血的治療なし、9:不明※ 原発巣切除を伴わない転移巣切除の場合は、4:姑息的治療に含める	初回治療として行われた観血的治療（外科的治療、鏡視下治療および内視鏡的治療）における、治療の範囲を、その総合的な結果を含めて記載する
740	放射線療法の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、放射線療法の有無。自施設において、初回治療として行われる放射線療法の頻度等を把握するための項目
741	放射線療法の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)放射線療法が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の放射線療法の施行日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
745	放射線療法 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された放射線療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
746	放射線療法 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された放射線療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
750	化学療法の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、化学療法の有無。自施設において、初回治療として行われる化学療法の頻度等を把握するための項目
751	化学療法の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)化学療法が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の化学療法の開始日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
755	化学療法 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された化学療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
756	化学療法 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された化学療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
760	内分泌療法の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、内分泌療法の有無。自施設において、初回治療として行われる内分泌療法の頻度等を把握するための項目
761	内分泌療法の施行日 (自施設)	(腫瘍に対して最初の)内分泌療法が自施設で施行された日	自施設での初回治療における、初回の内分泌療法の開始日。自施設で施行された初回治療の順序の把握を行うための項目
765	内分泌療法 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行された内分泌療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
766	内分泌療法 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行された内分泌療法の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
770	その他の治療の有無	1:自施設で施行、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	自施設での初回治療における、その他の治療の有無。自施設において、初回治療として行われるその他の治療の頻度等を把握するための項目
775	その他の治療 (他施設) 《自施設初回治療開始前》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始前に、他施設で施行されたその他の治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
776	その他の治療 (他施設) 《自施設初回治療開始後》	1:施行あり、2:施行なし、9:施行の有無不明	自施設で初回治療開始後に、他施設で施行されたその他の治療の有無。複数施設で連携して行う初回治療の状況を把握するために設けられた項目
780	経過観察の選択の有無 (自施設)	1:自施設で経過観察開始、2:自施設で経過観察を開始せず、9:経過観察開始の有無不明	自施設での初回治療が開始された際の、腫瘍に対する治療を行わないという決定の有無。自施設において、初回治療開始時に、経過観察が選択される頻度等を分析する
790	症状緩和的治療の有無 (自施設)	1:自施設で施行あり、2:自施設で施行なし、9:施行の有無不明	当該腫瘍の初回治療のタイミングで、症状の緩和を目的とした治療の実施の有無。自施設において、診断初期からの症状緩和的治療が実施されたか否かの指標として用いる

本書における施設別集計に関して

◆集計値について・・・

施設別の集計結果は各施設より提供いただいた院内がん登録データにより作成しており、比較として掲載している愛知県の値には提供いただいた施設データの合計、全国の値には国立がん研究センター発行の院内がん登録全国集計の値を利用しています。

本書においては、院内がん登録 2016 年標準登録様式による項目表示を基本として掲載しています。このうち、症例区分「その他 80」に関しては全国集計に習い基本的に集計からは除外しています。

院内がん登録データを用いた集計であることから、図表における数値表示は以下のとおりとしています。

- ・件数 10 件未満のデータは実件数を秘匿化している（「1～3」「4～6」「7～9」でまとめ表記）。
- ・件数 10 件未満のデータは件数割合を非掲載。

加えて、一部のグラフでは 1%未満の微小な%値は視認性の観点から非表示にしました。円グラフについては、同様の観点から 10 件未満や 1%未満など微少件数となる区分は、特別に「(他)」の区分を設けてそちらへひとまとめにする形の表示としています（各グラフ掲載箇所に併記した注参照）。

集計対象とした部位、病期分類に関しては国立がん研究センター作成の院内がん登録 2022 年全国集計報告書（下記 URL）に準じています。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/pdf/2022_report.pdf

本書にも以降に一覧表を掲載していますので参照ください。

また、本書で掲載した全国、愛知県の集計値は以下の通りとなっています。

- ・全国値 … 最新症例年の全国集計情報（院内がん登録全国集計結果閲覧システム：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」により取得）に基づいており、2022 年症例データによる集計（“がん診療連携拠点病院等”と“拠点外病院”の合計）。
- ・愛知県値 … データを提供いただいた 28 施設の拠点病院の合計により求めており、各施設値と同じく、2023 年症例データによる集計。

◆症例区分別ページ [施設別 2 章] について・・・

この症例区分別のページでは他のページと異なり、症例区分「その他」を含めた集計となっています。ただし、2-2、2-6 についてのみ全国値との比較の都合（全国集計の症例区分の公表値が「その他」を除いた件数であるため）から「その他」を除いた値となっています。

◆診断時住所別ページ [施設別 3 章] について・・・

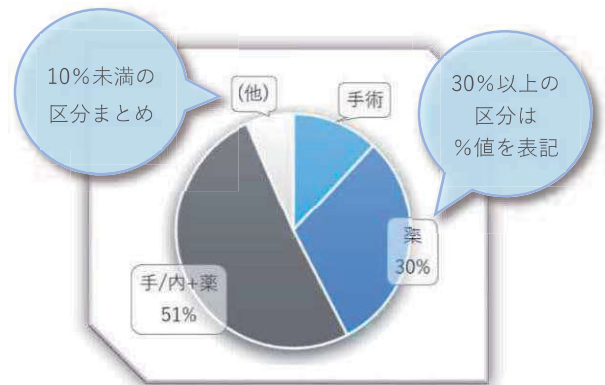
各施設から提供いただいた住所情報は診断時住所情報ではなく、院内がん登録標準登録様式に含まれる診断時郵便番号であるため、そちらに基づいた集計になっています。このため、郵便番号から地域（市区町村、医療圏）が引き当らなかったデータは診断時住所別の集計から除外しています。

◆部位別ページ [施設別 7 章] について・・・

治療前ステージ別・術後病理学的ステージ別・総合ステージ別の表・グラフにおいては、全国値などとの比較のため、初回治療開始症例（症例区分 20、30）のみでの集計値としています。これに対して、総合ステージ別治療の件数に関しては、症例区分に関わらず、自施設で治療を実施した症例についての集計値としています。尚、ステージ別の件数に関しては、すべて病期分類（以降に掲載）に従い、該当する症例のみ集計しています。

この部位別ページ内の治療の件数の円グラフにおいては、治療の区分分けが非常に多いため、10%未満の割合となる区分を少件数の区分と捉え「(他)」の区分にひとまとめにした表示としています<右図>。尚、グラフ内の%値については割合が大きな区分のみ表示することとし、30%以上となる区分についてその%値を表示しています。

治療件数の区分の詳細は、院内がん登録全国集計の仕様に準じて下記のとおりです。



<区分と[グラフ上の略表記]>

- | | | |
|----|-----------|-----------------------------------|
| 1 | [手術] | : 外科的治療または鏡視下の治療 |
| 2 | [内視鏡] | : 内視鏡的治療のみ |
| 3 | [手+内] | : 手術（外科的治療または鏡視下の治療）と内視鏡的治療 |
| 4 | [放射線] | : 放射線療法のみ |
| 5 | [薬] | : 薬物療法のみ |
| 6 | [放+薬] | : 放射線療法と薬物療法 |
| 7 | [薬物+他] | : 薬物療法とその他治療 |
| 8 | [手/内+放] | : 外科、鏡視下、内視鏡的治療のいずれか施行と放射線療法 |
| 9 | [手/内+薬] | : 外科、鏡視下、内視鏡的治療のいずれか施行と薬物療法 |
| 10 | [手/内+他] | : 外科、鏡視下、内視鏡的治療のいずれか施行とその他治療 |
| 11 | [手/内+放+薬] | : 外科、鏡視下、内視鏡的治療のいずれか施行と放射線療法と薬物療法 |
| 12 | [他組合せ] | : 上記以外の組み合わせ |
| 13 | [経過観察] | : 経過観察 |
| | [(他)] | : 少件数になった区分のまとめ（グラフ表示用） |

病期分類コード

	局在コード	組織形態コード								
胃癌	C 160, 161-166, 168, 169	8000 -8158, (8153除く)	8160 -8162,	8170 -8231,	8244, 8245,	8246 -8247,	8250 -8551,	8560 -8576,	8940 -8941,	8980 -8981
大腸癌	C 180, 182-189, 199, 209	8000 -8158, (8153除く)	8160 -8162,	8170 -8231,	8244, 8245,	8246 -8247,	8250 -8551,	8560 -8576,	8940 -8941,	8980 -8981
肝癌	C 220	<肝細胞癌> 8170-8175, 8020								
	C 221	<肝内胆管癌> 8140/2, 8148/2, 8160-8163, 8180, 8470, 8480, 8503, 8560, 8033, 8032, 8430, 8490, 8070, 8041								
肺癌	C 340-343, 348, 349	<小細胞癌> 8002, 8041-8045								
		<非小細胞癌> (8013, 8041-8045除く) 8000 -8158, 8160 -8162, 8170 -8231, 8240 -8245, 8246 -8247, 8249 8250 -8552, 8560 -8576, 8940 -8941, 8972 8980 -8981								
乳癌	C 500-509	8000 -8158,	8160 -8162,	8170 -8231,		8246 -8247,	8250 -8551,	8560 -8576,	8940 -8941,	8980 -8982 (8246/31除く)
前立腺癌	C 619	8000, 8010, 8013, 8020, 8041, 8140-8384, 8400, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8520, 8525, 8530, 8550, 8560, 8570, 8571-8574, 8576, 9070, 9110								
子宮頸癌	C 530-531, 538, 539	8000 -8158,	8160 -8162,	8170 -8231,	8240,	8246 -8247,	8249 -8551,	8560 -8576,	8940 -8941,	8980 -8981 (8246/31除く)
子宮体癌	C 540-543, 548, 549	8000 -8158,	8160 -8162,	8170 -8231,	8240,	8246 -8247,	8250 -8551,	8560 -8576,	8940 -8941,	8980 -8981 (8246/31除く)

集計部位分類コード対応

部位名	第1段階 ICD-O-3形態コード	第2段階 ICD-O-3部位コード
口腔・咽頭		C00-C14 (C10.1除く)
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚（黒色腫を含む）		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959 - 972、974 - 975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980 - 994	
他の造血器腫瘍	995 - 998、999	C421
その他		第1段階、第2段階で変換された以外の症例